

なん
ぽろ

議会だより



第1回
定例会

◆一般会計及び特別会計予算 91 億 2535 万円を可決

◆子ども室内遊戯施設整備事業費にかかる
補正予算 8 億 1024 万円を可決

農協職員から新規就農した異色の経歴を持つ今田さん

小松菜

3月 第1回定例会 審議結果



第1回定例会は3月7日に開会し、令和4年度町政執行方針、教育行政執行方針が演説されました。

その後、令和3年度各会計補正予算議案を審議し、いずれも原案のとおり可決。

また、令和4年度各会計予算案と関連条例など16議案を予算審査特別委員会に審査付託しました。

2日目は4名の議員が一般質問に立ち、執行方針等に対する理事者の考えをたどりました。

本会議は14日に再開し、令和4年度各会計予算案、条例制定などを審議し、いずれも原案のとおり可決・採択し閉会しました。

令和3年度補正予算

○一般会計補正予算(第9号)

歳入では、町税、普通交付税、南幌工業団地用地等売払い収入の追加、並びに事務事業の精査。

歳出では、新型コロナウイルスワクチン接種事業費、病院事業会計繰入金、除排雪経費の追加、職員給与費、長幌上水道企業団出資金、下水道特別会計繰入金の減額による。

◆補正額 5078万5千円減額

○一般会計補正予算(第10号)

歳入では、子ども室内遊戯施設整備事業に係る国庫支出金、基金繰入金並びに地方債の追加。

歳出では、子ども室内遊戯施設整備事業費の追加による。

◆補正額 8億1024万円追加

賞状

議員

※ウッドショック、人件費の高騰などで追加経費の補正は想定されるか。また、年間集客人数14万人からの変更は。

まちづくり課長 世界的に資材費の高騰もあるが早期発注などを進め、工事費の追加は現時点ではない。また入込客数14万人の変更もない。

議員 この事業はDBO方式であるが、もし集客数が少なかった場合

のランニングコスト町負担の増額はあるのか。

副町長 民間のノウハウを生かした自主事業やイベントの開催により、集客を見込むが、基本的に収入額が上下しても維持管理経費は年度協定での契約になるので、物価上昇や人件費など多少の増減は出てくる。

○国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入では、道支出金の減額、一般会計繰入金の追加。

歳出では、保険給付費の減額、基金積立金の追加による。

◆補正額 1142万円減額

○病院事業会計補正予算(第3号)

入院及び外来収益、一般会計繰入金、並びに事務事業費の精査による。

◆補正額

・収益的収入 10万9千円追加

・収益的支出 13万円減額

・資本的収入 202万5千円減額

・資本的支出 195万6千円減額

○下水道事業特別会計補正予算(第2号)

歳入では、江別市公共下水道事業起債償還分負担金、一般会計繰入金、下水道事業債の減額。

歳出では、職員給与費、江別市汚水処理に係る経費負担金の減額、消費税額の確定、南幌関連工事負担金並びに地方債償還額の確定に伴う減

額による。

◆補正額 1977万8千円減額

○農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

歳入では、一般会計繰入金の減額、繰越金の追加。

歳出では、施設管理に係る委託料の減額による。

◆補正額 34万1千円減額

○介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入では、介護保険料、国庫支出金、支払基金交付金、並びに一般会計繰入金の減額。

歳出では、介護保険システム改修費、保険給付費、地域支援事業費、並びに基金積立金の減額による。

◆補正額 5845万3千円減額

○後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入では、一般会計繰入金の減額、繰越金の追加。

歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金の減額による。

◆補正額 108万9千円減額

条例制定等

○南幌町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例(改正)

○常勤特別職の職員の給与等に関する条例(改正)

※ウッドショック、建築用木材の需要増加により価格が高騰していること。

○職員給与に関する条例(改正)

令和3年人事院勧告による。

○南幌町第1号会計年度任用職員報酬及び費用弁償等に関する条例(改正)

令和3年人事院勧告及び放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業の実施のため。

○南幌町児童生徒等医療費の助成に関する条例(改正)

○南幌町重度心身障害者及びひとり親家庭等医療費の助成に関する条例(改正)

医療費の全額助成の範囲拡大のため。

○南幌町ふるさと物産館の設置及び管理に関する条例(改正)

会議室の専用使用に係る使用料金を設定するため。

○南幌町道路占用料徴収条例(改正)

道路法施行令の改正のため。

○南幌町国民健康保険税条例(改正)

全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の改正のため。

○職員の育児休業等に関する条例(改正)

育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び雇用保険法の改正のため。

意見書

次の意見書を採択し、各省庁等へ送付しました。

○地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める意見書

- ①カーボンニュートラルの実現を着実に
- ②海水温上昇に伴う水産漁業被害の実態調査を
- ③被害対策の策定と支援を
- ④長期的な水産振興策の策定と支援を
- ⑤赤潮発生による被害対策と漁業支援を
- ⑥コロナ禍の影響によりダメージを受けている水産漁業関連等への経済支援を

◆提出者 本間 秀正議員

○令和4年度の米政策に関する意見書

◆提出者 本間 秀正議員

○給付型奨学金制度の拡充と教育費負担の軽減を求める意見書

◆提出者 本間 秀正議員

金制度を抜本的に拡充すること、教育予算を大幅に増加し、大学等の学費の引き下げや授業料減免の拡充に直ちに取り組むことを要望する。

◆提出者 熊木 恵子議員

○高齢者の医療費窓口負担2割化を中止し原則1割の継続を求める意見書

受診抑制によって、後期高齢者の健康状態が悪化するなどが起きないように、国においては高齢者に負担増を押し付ける計画を撤回し、医療費窓口負担の原則1割の継続を求める。

◆提出者 熊木 恵子議員

決議書

○ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

南幌町議会は、今般のロシアの侵略行為に対し強く非難をするとともに、ロシア軍の攻撃停止と即時撤退及び国際法の遵守を強く求めるものである。

◆提出者 志賀浦 学議員

とおり可決しました。

○一般会計補正予算(第7号)

歳入では、子育て世帯等臨時特別支援事業に係る国庫支出金の追加、財政調整基金繰入金の減額。

歳出では、国の経済支援対策として実施する、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金事業に係る経費、大雪に伴う町道除排雪経費の追加による。

◆補正額 1億4960万4千円追加

第2回 2月18日

補正予算1件が提案され、原案のとおり可決しました。

○一般会計補正予算(第8号)

歳入では、財政調整基金繰入金金の追加。

歳出では、大雪に伴う町道除排雪経費の追加による。

◆補正額 2731万円追加

第3回 3月28日

財産の取得1件が提案され、原案のとおり可決しました。

◆取得物件 子ども室内遊戯施設

◆契約方法 随意契約

◆契約金額 8億1013万9千円

◆契約の相手

大和リース株式会社グループ



第1回 1月25日

補正予算1件が提案され、原案のとおり可決しました。

令和3年度補正予算（第10号）に対する討論

反対討論 熊木 議員

私は、今まで「誘客交流拠点施設整備事業」の建設に反対の意思を表明してきました。

補助金があるからと建物を建て、利活用がされなくなり町財政が破たんしてきた実態は全国各地で引き起こされてきました。今回の事業は今後どのような維持管理費がかかるのか、近年ウッドショックや鉄鋼材の高騰、さらにロシアのウクライナ侵攻による材料費の

高騰など、予測のできない状況が出てくることになるのではないのでしょうか。

令和4年度の予算編成にあたって、「本町の財政構造を踏まえると大幅な町税収入の増加が期待できないことや、社会保障関係費の増加、公共施設改修費等の投資的経費の増加などにより、本町財政は引き続き厳しい状況が続くものと考えます。」と述べられていることをみても、新たな施設建設はやめるべきと考えます。よって、今補正予算には反対します。

賛成討論 加藤 議員

令和4年度において整備を行うため、令和3年12月開催の第4回議会定例会において、基本設計変更の補正予算を全会一致で可決し、設計の見直しを行い、建設に向けた準備を進めていたもので、今回の補正予算は国の採択を受け、基本設計の修正を行い、施設整備費の範囲内での事業が進められる計画です。

町ではホームページ、広報誌を通じ、情報

を発信するとともに、シンポジウム、行政懇談会等を開催しております。その結果、施設整備について多数の町民の理解を得られたと、私は認識しています。

30年後も子どもたちのいる風景を実現させていくことが、持続可能な南幌町を築くための我々の責務なのではないかと考え、令和3年度一般会計補正予算（第10号）に賛成をするものです。

賛成討論 細川 議員

子ども室内遊戯施設整備事業は、本町における人口減少を抑制するため、交流人口を呼び込み、いびつな人口構造を緩やかにする必要性から、子どもの遊戯施設を核とし、町内外の多くの方が交流し、賑わいの中心となる施設として中央公園に整備するものです。

本町を取り巻く環境が大きく変わろうとしているこの機に、本町を大きく発展させるため、子ども室内遊戯施設整備事業を進めるべきだと考えます。

以上のことから、私は令和3年度一般会計補正予算（第10号）に賛成するものであります。

賛否の公表

議員の活動に対して町民の評価が的確になされるよう情報の提供に努めるため、議案などに対する各議員の賛否を公表します。

※掲載されていない議案はすべて全員賛成、議長は採決に加わっていません。

議 件 名	結 果	内田	佐藤	熊木	西股	志賀浦	本間	石川	加藤	川幡	細川	側瀬
令和4年第1回定例会 議案第27号 令和3年度南幌町一般会計補正予算（第10号） ※子ども室内遊戯施設整備事業	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	/
令和4年第3回臨時会 議案第28号 財産の取得について（子ども室内遊戯施設）	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	欠	○	/

一般質問に4人が登壇

議員本人が要約して掲載しています



石川康弘 議員

Q 新規就農者の受け入れ体制を

A まずは研修の受け入れと農地の確保が必要



石川議員

本町の農家1戸当たり平均面積は30ヘクタールを超え、道内有数の耕作面積を有しています。しかし、農家戸数は年々減少しており、令和3年度は160戸、

農家人口は691人であり、あと10年後には100戸ほどになるのではないかとはいわれ、今後、いかにして農家戸数を維持していくのか、JAをはじめ町内の農業関係者はとても心配している状況です。

本町の新規就農者は、親元就農と農業生産法人に就職する形で毎年誕生していますが、それでも離農者

数を補うほどの数ではありません。新規参入を希望する就農者に対しては、特に何も行っていないのが現状です。それは、農地を求めた既存の農業者が多いため、新規の方に紹介するほどの農地がないのが一番の理由なのですが、例えば、農業生産法人や大規模農家から土地を借りて就農するような機会は作れないものでしょうか。

または第3者就農制度を利用するなど、町と農協などが新規就農者を求める体制がなければ、就農する機会が生まれにくいのではないかと思います。

今後、国の政策次第で農地売買の流れが変わる可能性もあり、今から新規就農者の受け入れ体制を整えておく必要があるのではないかと思います。

町長

親元就農をはじめ新規就農者を確保することは、持続可能な農業を推進する上で大変重要であることから、新規就農支援招致サポート事業や新規就農支援住宅の設置などのほか、本年度から新たに、担い手対



策奨励事業を実施します。

新規参入者が農業経営をしていくためには、新規就農者として認定を受けるほか、農地の確保、技術や経営能力、資金の確保等が必要となります。町内において、先進的な事例もあることから、担い手育成総合支援協議会を中心に、農業生産法人での雇用就農や研修の紹介を行うとともに、農業者に対し、就農希望者の研修の受け入れや、農地の確保などのアンケート調査を行い、新規就農者の確保に向けた取組を進めてまいります。

Q 生涯学習の新たな機会の開設について



熊木恵子 議員

A 新しい生活様式を取り入れた 講座内容を検討します

熊木議員

新型コロナウイルス感染症の拡大が長期化する中で、町民の生涯学習や文化行事への参加の機会が失われ、自分らしく生きがいとゆとりのある生活ができていない方も多いのではないかと思います。

このような時だからこそ参加したくなるような魅力的な内容の講演会や、音楽郷土史、文学などに触れ、人と人とのコミュニケーションが図られ、人生を豊かに過ごせるような町民の学習、研鑽となる講座の開設を計画的に進める必要があります。

町内には優れた人材が多数おり、多様な学習要望に力を発揮していただけるものと考えます。

社会教育の推進は町民の一人ひとりが生涯を通じて生き生きと学び続けることを応援することにつながります。

新たな講座の開設や、文化の向上につながる企画の考えを伺います。

教育長

本年度より「一人ひとり



さわやかカレッジ スマホ教室の様子

のやってみたい、知りたい、学びたいをつなげようみんなで楽しく創る なんとぼろの社会教育」を基本理念とした第4期社会教育中期推進計画がスタートします。

この計画に基づき、コロナ禍においても、町民の皆さんの一人ひとりの生活をより豊かにし、幸福感が得られる学びの場を提供しなければならぬと考えます。

新たな講座の開設については、軽登山やトレッキング、インターネット、スマートフォンを活用した、高齢化社会をより豊かにするための講座など、今日的な課題に対応した内容を検討していきます。

Q 気候変動に対する町の対策は

A 第4次計画の改訂を行う

熊木議員

地球の温暖化は極めて深刻な状況で、本町でも毎年豪雨や暴風、猛暑など異常気象による災害が発生している。

①地球温暖化対策実行計画の進捗状況は。

町長

①平成19年1月に「南幌町地球温暖化対策実行計画」を策定し、第4次計画の改訂を行います。

熊木議員

②2030年までの削減目標は何%か。

町長

②二酸化炭素の削減に向け

た省エネルギーや省資源の取り組みの実践などにより令和7年度までに、22%とされています。

熊木議員

③公共施設、街路灯のLED化の実現状況は。

町長

③役場庁舎、生涯学習センターなどのLED化を行っています。街路灯は令和5年度に町道に設置している街路灯のLED化工事を予定しています。

熊木議員

④全町民をあげての気候変動に対する啓発活動の取り組みは。

町長

④家庭における低公害車や省エネ家電の購入、太陽光発電による再生可能エネルギーの導入などが期待されており、無理なくできる省エネ行動の実践に向けて啓発を行っています。



昭和56年水害の様子



佐藤妙子 議員

Q 定住に向けた意識調査と 賃貸住宅への支援策は

A 意識調査の実施とみどり野団地 販売促進を優先します

佐藤議員

今回の都市計画マスタープランでは、未造成地を活用した企業立地に向け見直しを行い、これからのまちづくりに向けて検討を進めるとあります。新たな雇用の確保と民間賃貸住宅のための未造成地活用に向けた取り組みを検討しています。が、本町で働く若い方たちが職住近接を希望し、安心して定住していただくために、より踏み込んだ支援が必要と考えます。

町長

①町内で働く若者世代を対象に、定住に向けた意識調査はどのように実施したのか。

①意識調査については、現状では調査していません



が、今後、用途変更に合わせて準工業団地または住居用地の調整に入って行く段階で、実施したいと考えています。

佐藤議員

②賃貸住宅への支援策について、これまでの検討経緯と今後の支援策の考えは。

町長

②「南幌町住生活基本計画」において、子育て・若年世帯で民間住宅入居世帯への家賃助成の検討をしましたが、戸建て建築の動向が強まっており、現状においてはみどり野団地販売促進に努めます。また、新たな住宅環境の整備として、移住体験住宅及び中古住宅の助成を進めてまいります。

Q ヤングケアラーに対する考えと 今後の取り組みは

A 正しい理解が進むよう 指導に取り組む

佐藤議員

ヤングケアラーとは介護、うつ病や精神疾患などを持つ家族の世話サポートなどを行っている18歳未満の子どもたちのことをいいます。

これは家族の手伝いの域を超えた過度な負担が学業や本人の健康、友人関係、将来の進路にも影響を及ぼすと指摘し、2020年国の調査では中学生の17人に一人、高校生の24人に一人が身近にいることが明らかになりました。

早期発見に努め、子どもたちが正しい認識を持つことが大事であり、そのためには学校の役割は重要と考えるが、そこで2点伺います。

①これまでにヤングケアラーの実態調査は。

教育長

①町独自ではしていないが道と道教育委員会で令和3年公立の中学・高校2年を対象に実施しました。

佐藤議員

②ヤングケアラーに対する考えと今後の取り組みは。

教育長

②学校において早期把握や適切な支援が行える環境を作るため国や北海道の今後の動向を注視し、ヤングケアラーの正しい理解が進むよう指導に取り組みます。



**Q 遊戯施設の点検や
日々のメンテナンスが重要では**



西股裕司 議員

**A 定期的なパトロールと
維持管理体制の強化に取り組みます**

西股議員

公園長寿命化整備計画案が示され、令和3年から令和12年までの10年間で実施することを目標とし、幅広い世代に安全で安心して利用が可能な公園整備を行う方針となっています。

基本的な考えでは、公園の利用度・重要度を考慮し、遊具の有無などをグループ分けして整備。施設の劣化状況や活用事業などにより

整備順が前後するとあります。

現在の公園に設置されている遊戯施設の85%は、補修等が必要な施設との調査結果を受け、遊戯施設の更新等を計画しているが、長寿命化させる柱となるのは遊戯施設の点検や日々のメンテナンスが必要ではと考えます。

施設を維持していくため、どのように点検等に取



本年度改修する中央公園大型滑り台

り組んでいくのか、計画的に組み込む必要があるのではと考えるが町長の考えを伺います。

町長

公園長寿命化整備計画は、早期に修繕などの対策が必要な施設の計画的な整備を目的に策定しています。計画以外の施設については、指定管理者と連携を図り、長く利用していただける公園の維持管理に努めてまいります。

また、施設の点検等については、毎年、専門業者による法定点検や、指定管理者による定期的な点検・修繕などを継続して実施するとともに、計画的にメンテナンスが行われるよう、公園担当課による定期的なパトロールと、指定管理者選定幹事会による現地の確認調査の実施など、維持管理体制の強化を図ってまいります。

西股議員

町長の執行方針では、地域の活動を支援するまちづくり活動支援事業などの支援策や、地域共生社会の実現を目指すとの考えを伺います。

知症高齢者に対しても優しい地域づくりを目指そうという考えが出ています。

認知症になっても、人生をエンジョイして脳を活性化することは、薬以上の効果があるという実証研究結果が示されています。

有償ボランティアで取り組んでいた地域とのつながりを持つ。そうすることで認知症が改善され、日常生活が維持される実証というの報告されています。

業者等にいろいろ頼るだけでなく、色々な町民を活用しながら事業の実現に向けた取り組みにつなげてほしいと考えますが町長の考えは。

町長

まずは担当課で定期的なパトロールを行ってまいります。町民のボランティアは有償であれ、無償であれ、それらの機運、取り組みが広がっていくように、日ごろの啓発、取り組みに努めていきたいと考えています。

議会の動き

全員協議会

- 1月25日
 - 都市計画マスタープランについて
 - 第6期総合計画後期基本計画について
 - 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について
 - 誘客交流拠点施設整備について
 - 誘致企業によるふるさと物産館の使用について
 - 町立病院の医師体制について
 - 町立病院の経営状況について
 - 教育大綱について
 - 社会教育中期推進計画・子どもの読書推進計画について
- 2月18日
 - 夕張太西地区住環境整備事業期間の変更について
 - 公園施設長寿命化整備計画について
 - 財政推計について

- 3月9日
 - 誘客交流拠点施設整備について

委員会活動

◆総務常任委員会

- 3月11日
 - 今後の所管事務調査について

◆産業経済常任委員会

- 3月30日
 - 令和4年度所管事務調査について
 - 南幌町みんなできいなまちをつくる条例について

◆議会運営委員会

- 2月28日
 - 定例会の運営について

- 3月11日
 - ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議について

◆南幌町まちづくり特別委員会

- 1月13日
 - 議会報告懇談会について
 - 南幌町議会録画中継の配信に関する要綱(案)について

3月18日

- 書面による懇談会の町民の声について
- 令和4年度に向けての取り組み
- 各委員会からの報告



書面による議会及び町政への意見集約

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、まん延防止等重点措置の対象地区に北海道も指定され、多くの人が集まる集会等が制限されたことから、南幌町議会では「書面による意見集約」を下記のとおり実施しました。町民から寄せられたご意見を集約しお知らせします。

なお、これらのご意見を協議検討させていただきます。

●意見募集期間 令和4年3月1日～15日 ●意見総数 4件

項目	ご意見
①まちづくりに関する事項	・誘客施設の運営について ・街路灯の設置について
②交通に関する事項	・主要道路(きらら街道)の整備について
③生活に関する事項	・高齢者への除雪体制 ・あったか灯油事業について ・美園地区の町内会設立について ・町立病院の体制について ・大型スーパーの誘致について ・除排雪への依頼
④教育・文化・福祉に関する事項	・高校生通学費助成について
⑤新型コロナウイルスに関する事項	・新型コロナ感染時の自宅への食糧手配について

予 算 審 査 特 別 委 員 会

予算審査特別委員会を、3月9日、10日、11日に開催し、審議の結果、令和4年度各会計予算案（一般会計・国民健康保険特別会計・病院事業会計・下水道事業特別会計・農業集落排水事業特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計）及び関連議案は賛成全員で「可決すべきもの」と決定し、本会議で報告しました。委員会での質疑を要約して掲載します。

総務費

委員【地域おこし協力隊設置事業】

地域力創造アドバイザー制度の内容は。

総務課 総務省の事業で地域活性化の取組みに関する知識や、ノウハウを有する外部アドバイザーを招き、専門的な指導・助言を受けて地域の魅力や価値を向上させる事業となっている。

委員【移住促進事業】

これまでの移住体験住宅は、観光目的で利用されており、移住に結びついていないのでは。その費用対効果等を検証しているのか。

まちづくり課

新たな移住体験住宅はきた住まいるヴィレッジエリアに建設を予定し、住宅販売エリアに建てることによって移住につながるようにしていく。

委員【地域新エネルギー事業】

今後の稲わらペレットの方向性と公共施設での稲わらペレットの使用状況は。
まちづくり課 実用化については、稲わらペレットの

コストや燃焼効率、残灰の問題により、現段階での実用化は難しい状況である。引き続き研究機関との連携を維持しながら活用を模索していく。公共施設では現在木質ペレットを利用して

委員【防災対策事業】

防災学習会議の内容は。

総務課 町民を対象とした気象予報士による講演会や避難所体験等を予定している。

委員【防災対策事業】

防災教育の中に、感染症やSDGsの学びを取り入



南幌高校生防災体験の様子

れる予定は。

総務課 昨年、南幌高校で防災教育を実施し、テントや段ボールベッドの設置、高校生に避難所の受付を実際に体験していただいた。防災教育や防災訓練などはそのものに時間がかかり、感染症のことやSDGsについて現在は出来ていないが、今後検討させていただく。

委員【防災対策事業】

防災無線の個別受信機の普及率と転入者への設置は。

まちづくり課 普及率は93・1%となっている。転入者に対しては住民課において転入手続の際、手続一覧の中で防災無線戸別受信機の設置について案内をしている。

委員【旧夕張プール解体費用】

再利用は難しいとのことだが、公募等で再利用について検討してほしい。また、解体するにあたっての補助金等はないのか。

総務課

旧夕張太プールは、私有地に囲まれている物件で、他の事業者等に利

用してもらうことは非常に難しい。また解体に関する補助金はない。

委員【まちづくり活動推進事業】

昨年度までの実績はあまりない。制度を拡大したにもかかわらず、利用されていないことは、地域担当職員がしっかりと説明していかかと思われる。今年度はどのように考えているのか。

まちづくり課

町内会活動にも助成範囲を広げたが、コロナ禍により事業自体が行われず実績につながっていない。地域担当職員については、受動的な対応になっていたが行政懇談会においても意見があり、今後はより積極的に関わるような形に変えていきたい。

委員【日本ハムファイターズ応援大使事業】

南幌町として考えているイベント等は何があるか。

まちづくり課

応援大使の実行委員会を立ち上げ、その中で事業を展開していく。4月から懸垂幕、応援パネル、町単独でバックパネルを製作し、イベント等



に持ち出しのできるように考
えている。

委員【企業誘致推進事業】

準工業用地の整備につい
て、造成整備費の補助はあ
るか。また、どういう資金
の手当てをするのか。

まちづくり課 造成部分に
は補助等はないので一般財
源で賄うことになる。道路
や下水道等に対する補助金
はあるので活用する。

委員【百三十年記念事業】

式典の具体的な開催時期
や内容は。

総務課 功労者表彰を含む
式典の開催を予定している
が、時期や内容については
これから検討する。

委員【防犯対策推進事業】

防犯カメラの設置計画
は。また、事件事故等によ
る警察署への情報提供の実
績はあるのか。

住民課 今年度は生涯学習
センターに、来年度は町立
病院に設置を予定してい
る。これまで消防横バス
停、役場庁舎正面玄関と職
員玄関、中央公園駐車場
あいくる、夕張太ふれあい
館、ビューローに設置して



あいくる防犯カメラの映像

いる。警察等の捜査協力は、
令和元年度2件、令和2年
度4件、令和3年度1件で、
いずれも交通事故と窃盗等
の案件となっている。

委員【防犯対策推進事業】

街路灯のLED化の進捗
率は。新たに入居される方
が増えている美園地区は、
LEDの街路灯になってい
るか。

住民課 町内会等の全体の
LED化は、830灯のう
ち610灯がLEDに交換
され73・5%の進捗率と
なっている。美園地区など
は、造成に合わせて道公社
が設置する条件となってい
るので、町から道公社に依

頼して設置していただいで
いる。

委員【戸籍住民基本台帳費】

マイナンバーカード普及
についての町の考えは。

住民課 本町の2月1日現
在の普及率は39・4%、全
国で41・8%、北海道では
37・9%となっている。マ
イナンバーカードの普及促
進は、利便性、メリットや
デメリット、安全性を周知
することが重要と考え、交
付円滑化計画に基づき引き
続き、町広報誌やホーム
ページなどで啓発を行って
いく。



マイナンバーカード

民生費

委員【社会福祉費】

避難行動要支援者につい
て、現在の登録人数と現状
は。

保健福祉課 全体名簿は、
災害時に本人の同意の有
無に関わらず名前を公表
し、登録している方は56名
となっている。その際、支
援していただく方は主に地
域の民生委員を想定してい
る。支援を要する人も増え
ている状況である。

委員【子ども・子育て支援事業】

これまで子育て支援ブツ
ク等をつくってきた、町外
にも配布し、南幌の子育て
支援はすぐ注目されてい
ると思うが、新たに何かつ
くる計画はあるか。

保健福祉課 子育てガイド
ブックを令和4年度改定す
る。子育て世帯が増えてき
ていることから、ガイド
ブックだけでなく、いろい
ろな形で、南幌町の取り組
みを宣伝していく。

衛生費

委員【乳用児、防災備蓄品支援事業】

防災リュックの配布は、要望があつたのか。1歳以下の子どもが対象となつているが、中身はどのようなものか。

保健福祉課 総合計画への掲載に基づき今回予算計上している。中身はカットパンやハサミが入っている救急セットのポーチ、ポケットティッシュ、救急シート、液体ミルクなどが入る。

委員【新型コロナウイルスワクチン接種事業】

5歳から11歳へのワクチン接種で、子どもへの接種の必要性について保護者からの意見や要望はあつたか。

保健福祉課 南幌町コロナワクチン問い合わせ窓口で保健師が対応することになるが、そのような質問がある場合は丁寧に説明をしている。

委員【母子保健事業】

子育て支援アプリは、子ども一人ひとりの情報が町



子育て支援アプリのイメージ

と共有されることになるのか。また、これまでの母子手帳は紙だったので1冊で共有できるのか。

保健福祉課 このアプリは保護者ご自身で、成長曲線や予防接種の管理等を入力して管理することになる。アプリ登録は、本名でなくとも良いので、町としては誰が登録しているかわからない状況になる。町と保護者が、そのアプリの共有は出来ないが家族間等では暗証番号やパスワードを設定することで、共有して見ることが可能となる。

農林水産業費

委員【担い手育成事業】

新規就農者確保のため、新規就農奨励金予算をつけたいが、最低限、生計を立てるぐらいの奨励金でなければ、魅力に欠けると思う。農地の斡旋とその取得資金の対応等のメニューを示さなければ、この事業は進まないと思うが。

産業振興課 国の就農支援

制度では、5年間で最大690万円を新規参入者が受けられる制度がある。町では新規就農者に対して、新規就農者激励会での祝い金として一人10万円を贈呈する。新規就農者の就農後の農地取得に係る資金については、認定農業者、あるいは認定新規就農者といった認定が必要になる。今後関係機関と連携して、新規就農者の支援をしていく。

商工費

委員【南幌温泉管理運営事業】

コロナの影響で利用者は減少していると思うが、町



南幌温泉ハート&ハート

と指定管理者で今後の温泉運営と集客に向けた協議はしているのか。

産業振興課 現在の固定客を離さず、新たな顧客を獲得するために営業形態や温泉でのイベントなど、町と指定管理者が協議を行っている。

委員【観光振興事業】

町内における第三者認証飲食店の割合は、**産業振興課** 現在、町内で22事業所が認証を受けており、全体の約71%になる。

土木費

委員【町公営住宅管理事業】

栄町町営住宅の灯油配送で、高齢者が3階まで灯油を運ぶのはきついと感じている方が多くなっている。3階まで灯油を配送してくれる業者のお知らせ等を行っているのか。

都市整備課 入居者からの相談もあり割高にはなるが、札幌の灯油配送業者が宅内配送もやっていただけ情報提供を行った。

委員【住宅リフォーム助成事業】

令和3年度の申込み件数は46件で抽選により上限30名が助成を受け、残りの3分の1の方は落選している現状である。町民からの需要が見込まれるのであれば、事業費を増やしても良いのではと思うが。

都市整備課 コロナ禍で住宅に投資する方が増加している。本年度の受付が終了した段階で、申込み件数を把握し、次年度以降の需要とバランスがあるので前向きに検討する。

委員【空き家対策事業】

空き家解体工事及び中古住宅購入に要する費用の助成内容は、申込みが多数になったときの対応は。

都市整備課 申込み順による受付で、事業費は空き家解体助成事業で45万円、助成率は10%、1件あたり15万円が上限となる。中古住宅購入助成は事業費が125万円、助成率20%、1件あたり25万円が上限となる。

委員【町道除排雪事業】

町地内の遊歩道の中には生活路線になっている遊歩道もあるが、利用者の多いところは除排雪をできないが。

都市整備課 遊歩道を新たな除排雪対象として路線を増やすことは、機械力の観点からも難しい。

教育費

委員【給食主食補助事業】

給食センターの菌検査について、職員の検査はどのように行われているのか。
教育委員会 衛生管理基準に基づいて、給食センター



学校給食の様子

消防費

委員【消防水利整備事業】

職員等の大腸菌検査を月2回実施している。ノロウイルスの検査も発生がしやすい10月から3月に月1回検査を実施している。

開栓困難な消火栓の取替 工事とあるがその内容は。

総務課 開栓困難な消火栓とは経年劣化等で錆びて固まり、工具を使わないと開けられない状態のことをいう。令和4年度は6基更新を計画している。

介護保険特別会計

委員【介護保険料】

昨年開催した議会報告懇談会の中で、町民から介護保険料の負担が厳しいと相談があった。現在の南幌町の介護保険料は極端に高い町ではないが、今後の推移として保険料を抑制できるような方法はあるか。

保健福祉課 介護保険料は、3年に1回見直しが行われ、これまでも徐々に高くなってきている。第8期介護保険事業計画では高齢者は増え、サービス利用も増えてくるという推測をしている。介護保険料の上昇を少しでも抑える方策といえば、要介護認定者の増加を防ぎ、介護サービスの給付費を増大させないことだと考えている。

下水道事業特別会計

委員【公会計整備について】

公営企業会計に移ることによって、どのようなメリットがあるのか。今回なぜ変更するのか。

都市整備課 下水道事業については、適正管理で計画

的な経営をしていく必要がある。資産の動きや、経営比較分析、経営状況の把握ができる複式簿記の企業会計へ移行するよう、総務省から示され、現在進めている。

病院事業特別会計

委員 常勤医師4名体制に向けて医師の採用の見通しは。

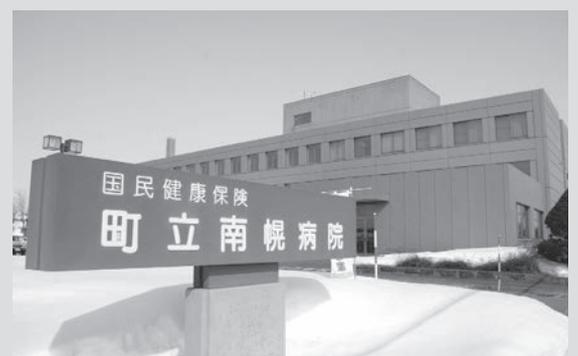
町立病院 国や道の関係機関、医療スタッフの人材派遣会社を活用して、医師の確保に向けて取り組んでいる。当面は3名体制となるが、できるだけ早期に確保したいと考えている。

委員 退職する医師の患者はどのように引継ぎがされるのか。

町立病院 患者については引き続き、総合診療のドクターが診るということで、引き継ぎがされている。みどり苑等の施設入所者についても同様である。

委員 濃厚接触者となつている同居高齢者への訪問診療等があったか。

町立病院 把握している限



りでは、そのような事例はなかった。

委員 ある程度、患者が揃わないと医師による診察が始まらないように思える。他の患者からもそういった苦情が出ているが、少しでも早く診察するような対策はとれないのか。

町立病院 救急や発熱外来の対応を優先しているが、それでも患者を待たせないで、早く診察することが院内の共通課題であるため、今後検討していく。

私のまち・ひと・しごと



新規就農者 今田 ^{ひろのり}裕寛さん 40歳 (14区)

今田さんは元JAなんぼろ職員でしたが、4年前に退職し新規就農者として町内の農家から農地約180aを借りてハウス栽培を行っています。

★就農した理由は

モノ作りや農産物生産に興味があった中で農協に就職し、農家の方々と接するうちにサポートする側から生産する側への思いが強くなりました。地元である広島県で新規就農の研修制度があることを知り、人生一度きりなのでやりたいことにチャレンジしようと考え就農しました。

★どんな作物を栽培しているのですか

ビニールハウス7棟で小松菜を中心に生姜（しょうが）も少量、露地では長ネギ、ブロッコリー、カノコソウ（薬草）をつくっています。

★農業をしてみてどう思いましたか

当初は設備もほとんどなく栽培知識もない中で四苦八苦でしたが、次第に課題をクリアしていきながら自分の成長と設備が整っていく中で、やりがいと充実感を感じています。

★南幌町への意見・要望は

「基幹産業の農業」に従事する農家戸数は減少の一途です。現状では増えることはありません。大規模経営が安定経営につながることは間違いないですが、これからは小規模でも健全、安定経営ができるシステムやサポート体制を関係機関とともに検討し構築していただいて、より魅力のある南幌町の農業・農産物となるよう取り組んでいただきたいです。

新規参入就農の先駆者として励んでいる彼のあとに続こうとする人たちが、新たに生まれることを期待したいです。(石川)



◆ ◆ ◆
編集後記
◆ ◆ ◆

桜の季節となり、大雪で融雪が遅れていた農作業も順調に進み、豊稔の秋が期待されます。

本町における新型コロナウイルス感染症状況は、4月17日現在、2回目接種6290人で85・1%、3回目接種4472人で60・5%の方が接種を終えています。また、5歳から11歳の接種率は20・9%です。

全国的に新たな変異株が発生し、下げ止まりの状況です。手洗い、うがいを励行し、不要な外出はなるべく控え、感染予防をしっかり行いましょう。

今号では、第1回定例会審議内容、一般質問、予算審査特別委員会の質疑を中心に掲載しましたので、ご一読ください。

(細川)

なんぼろ議会だより

令和4年5月1日 第158号

〒069-0292

空知郡南幌町栄町3丁目2番1号

TEL 011-398-7250

発行／南幌町議会

編集／議会広報特別委員会

《西股・内田・石川・加藤・細川》

印刷／(株)総北海